

“ずく”出して、世界へのはじめの一步 イマ・ココから

信州 発

国際協力

2013 夏号 | No.36 2013.7.1 | JICA駒ヶ根

Contents

派遣前訓練の見直しについて …… 1	帰国ボランティア紹介 …… 3
JICAボランティア春募集報告 …… 1	新職員紹介 …… 3
イベント・レポート …… 2	インフォメーション …… 4
ボランティア現地レポート …… 3	長野県出身新ボランティア …… 4



JICAボランティア派遣前訓練が新しくなりました!!

年4回行われているボランティアの派遣前訓練を大きく見直し、より効果的で、赴任後に即役立つ内容になりました。

大きな変化は、①訓練日数の見直し②現地活動を強化するプログラムの導入③社会還元を強く意識④訓練の一般開放、等があります。

訓練期間も海外青年協力隊は70日間、シニアボランティアは35日間と、昨年度までの各65日間からの変更となりました。目標管理にも力を入れ、派遣後に効果的な活動を行うための目標設定とその進捗管理、ふりかえりを、実践を通して身に付けるために必要な知識と手法を学んでもらいます。

日本や日本人の特徴について学ぶことで自分のアイデンティティを再確認する日本(人)研究も新しい講座として加わりました。帰国後、ボランティア経験をどう社会に還元していくかを考えてもらうこともこの講座のねらいです。

学習したスキルの実践や内容を深める場、「日本(人)研究」の場、連絡事項等の共有の場として、約20名で構成される生活班ミーティングを毎週行っている点も新しい訓練の特徴です。また、大学やNGO等との連携も強化を図っており、JICAボランティア候補者と共に大学やNGO関係者も訓練に参加しています。

また、復活した講座としては、生活班単位での野外訓練や、座禅、協調性と団結力を養うためのスポーツ大会などがあります。訓練修了時の評価も、従来の語学のみでなく、ボランティアに求められる行動の適性も対象となります。

実際に訓練を受けた協力隊候補者の声を聞いてみました。



齋藤 綾子 さん (平成25年度第1次隊)

派遣国:ドミニカ 職種:小学校教諭

野外訓練では、限られた食料や燃料で生活をし、貴重な物資をいかに有効に使うかを考え、各自の得意分野を發揮して、班の仲間と協力して活動しました。

夜のチームビルディングでは、火を囲んで語り合い、みんなと出会えて良かったと改めて思ったひと時でした。厳しい環境でしたが、仲間と一緒に過ごすので、楽しみながら乗り切ることができました。



自炊の夕食を自作の食器で食べる 缶でご飯を炊く



林 愛子 さん (平成25年度第1次隊)

派遣国:ジャマイカ 職種:体育

座禅の講義では手足の組み方、口の閉じ方、呼吸法、目線、姿勢など多くの作法を学びました。初めは様々な思いが浮かんでいましたが、次第に呼吸が調い、無になる時間があることに気がきました。肩に打って頂いた警策は、聖僧さまからの激励となり、背中や胸へとだんだんと静かに広がっていき、その後少しずつ消えていく感覚を味わうことができました。

平成25年度JICAボランティア春募集の結果報告

春募集説明会には165名の方に参加いただきました!

平成25年度JICAボランティア春募集が5月13日に終了し、募集説明会には大変多くの方にお越し頂き、前回比の2倍に当たる165名の方に参加いただきました。

今募集では、各地で協力隊活動パネル展や仁田所長の講演会「世にもユニークな国・ブータン」も開催することで、より多くの皆様にJICAボランティアを知って頂くことが出来ました。



エスニックランチ 開催!

第1回目



7/13 ⑤ バングラデシュ

バングラデシュカレー、豆のスープ、など

第2回目



8/3 ⑤ パラグアイ

パラグアイ風雑炊「ギーソ」、エンパナーダ、など

第3回目



8/17 ⑤ ブータン

世界一辛い、と言われるブータン料理。唐辛子やチーズを使った「エマダツィ」など。辛い物好きにお勧めです。(非常に辛いのでご注意ください)

今年もやります、JICA駒ヶ根エスニックランチ。駒ヶ根では馴染みのあるバングラデシュから、初登場のパラグアイ、そして話題のブータンまで、当訓練所にゆかりのある国々の料理です。普段なかなかお目にかかれないお国の料理を味わう貴重な機会をお見逃しなく。

定員:各回50名

参加費:600円(ランチ代)

受付にてお支払頂きます。

開始:12時30分 ● ランチ終了:13時40分

青年海外協力隊のOBらによる料理や国の説明を聞き、ランチをお楽しみいただけます。その後希望者には施設見学ツアー(20分程度)を行います。

お申込み、お問い合わせは…

jicakjv-kouhou@jica.co.jp
Tel 0265-82-6151 Fax 0265-82-5336
●お名前、参加人数、参加希望日、ご連絡先をお伝えください 担当:茂木

*料理の内容は、都合により、予告なしに変わることがございます。

イベント・レポート

Event Report

▶ビバ・アフリカ!

皆さんはアフリカと聞いて何を思い浮かべますか?

また、TICADと聞いて、何の事がわかりますか?

いまや最後の市場と言われているアフリカ。6月横浜で開催された「第5回アフリカ開発会議(TICADV)」では、「支援ではなく投資を」。私たち日本人に根強くある、アフリカ=「貧しい」「怖い」「不安定」などの暗いイメージだけでなく、「チャンス」という新しいイメージが生まれたのではないのでしょうか。

というわけで、我が長野県でも、アフリカを知ろう!TICADを応援しよう!という企画が各地で行なわれました。

4月の長野マラソン(4/21)、5月には長野県庁1階ロビーでの「ビバ・アフリカ展」、こもろ地球人まつり(5/26)、6月には千曲万博(6/2)、こいこい松本(6/23)などなど。各会場ではアフリカで活躍した青年海外協力隊の帰国隊員のパネルやアフリカのカラフルな布が会場を飾り、「元気なアフリカ」と日本のつながりを感じられる内容となりました。アフリカ帰国隊員が作ったポスターやクイズも登場し、会場によっては「アフリカ民族衣装試着コーナー」も。遠かったアフリカが少しだけ身近になる、そして元気が呼びさまされる=ビバ・アフリカ!TICADが終わっても、つながりはこれからです。



▶平成25年度 海外教師研修(ブータン)の参加者が決まりました!

5月に海外教師研修の参加者の選考会が行われ、長野県からブータンへ派遣される研修参加者が決定しました。

松島 千尋 先生(安曇野市立豊科南中学校)

丸山 妙子 先生(若槻養護学校中学部)

6月16日に国内研修の第一回目が地球ひろばで行われ、他県(東京都、群馬県、山梨県)からの参加者と初顔合わせをしました。再度7月の研修の後、8月1日から10日間ブータンにて本研修を行うことになっています。帰国後は、ご自身の学校で国際理解協力の授業を实践される予定です。お二人の研修への意気込みを聞いてみました。

松島先生

以前から道徳教育や英語科の授業を通して国際理解教育は行ってきたのですが、そのような授業の内容は、生徒たちの心により強く残っていることを実感してきました。カンボジアに行った後に自分の体験談を話した際、生徒たちの理解がより深まったという経験もあり、今回ブータンの研修を通して、写真や資料のみでなく自分の目を通した経験を話すことで、生徒たちにより強い印象を残せる授業をしたいと思っています。



丸山先生

以前より、国際理解教育に携わってきましたが、知るという程度に留まっていた。昨年JICA駒ヶ根主催の国際開発教育セミナーに参加して大いに勉強にはなりましたが、そこで得た手法を生かすことができずして。今回は自分にタスクを与え、自分が見て聞いて体験したことをもとに授業を計画し実践するという、最もやりたかったことを研修後に実行したいです。

▶JICA駒ヶ根所長が 幸せの国・ブータンを語る



ブータンの民族衣装「ゴ」を身にまとい講義する仁田所長

一昨年暮れに国王陛下夫妻が来日してすっかり有名になったヒマラヤの小さな王国・ブータン。

昨年暮れまで約3年半にわたってJICAの現地事務所長としてブータンに在勤していたJICA駒ヶ根の仁田知樹所長が、この春のボランティア募集期間(4月1日~5月13日)に合わせ、長野県内4か所(上田市、長野市、松本市、飯田市)において「ブータン講演会」を行いました。

講演会は「世にもユニークな国・ブータン」と題し、5年前に国王主導で民主制に移行したことや、経済成長一辺倒ではなく精神的充足感の向上を目指す「国民総幸福」(GNH: Gross National Happiness)の考え方を国家政策の中心に据えていることなど、ブータンのユニークな横顔の数々やブータンで活躍する青年海外協力隊の様子などを紹介しました。

講演会には、高校生から70歳代まで幅広い年齢層の人たちが参集し、国王陛下来日から1年半経った今も、ブータンに高い関心が寄せられていることをうかがわせました。

仁田所長のもとには、このほかにも県内の様々な学校や団体などからブータンについての講演依頼が届いており、信州でのこのブチ「ブータン・ブーム」は今しばらく続きそうです。

▶地球の料理教室~タイ編~

6/22(土)、長野市ふれあい福祉センターで開催された、「地球の料理教室~タイ編~」。「信州国際塾」の第1回目となるこの教室に参加されたのは、親子連れ、学生、社会人の方など総勢19名の皆さん。初めて会う仲間たちと協力しながら、テーブルごとに「鶏肉グリーンカレー」作りに挑戦しました。この教室の醍醐味は、料理だけでなく異文化レクチャーや青年海外協力隊のリアルな体験談を直接聞けること!

タイ生まれの講師(長野県国際化協会)井田ピムテブさんによるタイ語ミニ会話では、「サワディー(こんにちは)」などの簡単な挨拶を学びました。また、青年海外協力隊(職種・作業療法士)として活躍した富井久美子さんは現地での体験から、「タイでは周りの同僚を変えようと思っていたけれど、一番変わったのは自分。そんな自分を見て、同僚の仕事への意識が変わっていききました。今は、生まれ育った長野県の地域づくりに、少し成長した自分で貢献していきたい」と語りました。

参加した長野県短期大学の唐木真菜さんは「タイ料理が好きなので参加しました。カレーをそうめん食べるのが新鮮!食べ物から興味を持ちましたが、青年海外協力隊の体験談も聞けて良かったです。」と感想を教えてくださいました。



協力隊員 現地レポート in ネパール



今年1月から、青年海外協力隊員としてネパールに派遣されている、駒ヶ根市役所職員の吉澤啓太郎さんの現地レポートです。

私がネパールのポカラに来て約半年が経ちました。ここポカラはヒマラヤのトレッキングを目当てに海外から多くの観光客が訪れます。街から見える山々は長野県を思い起こさせますが、ふと足下を見るとゴミが散乱し、牛のふんがあちこちにありま。一日の半分は停電し、水も足りていません。

私はポカラ市役所に配属され、駒ヶ根市役所で働いた経験を活かしながら、幅広く市の施策に関わる活動をしています。ポカラは現在急速に人口が増えていて、様々な所で問題がでてきています。現在は環境や母子保健といった生活の根幹となる部分について活動を計画中で、他の隊員や市民と協力しながら啓発活動をしていきます。

ネパールは農業と観光以外に主立った産業の無い最貧国の一つです。しかしだからこそ皆が自然に助け合っていて、そんな姿を見ると私も学ぶところが多くあります。そんなネパールの良い所はそのままに、ポカラ市民や観光客にとってもっと素晴らしいポカラを作るお手伝いをしていきたいと思っています。



帰国した JICAボランティアの方々

2年間の活動
お疲れ様でした!!

シニア海外ボランティア



木村 恒範 さん

●派遣国：H22年4月 シリア
H23年8月 ヨルダン
(塩尻市) ●職 種：電子工学

最初はシリア派遣でしたが、2週間で帰国となり、待機期間を経てヨルダンで活動しました。首都アンマンに近いマルカと少し離れたザルカにある職業訓練学校でマイクロコンピュータと



液晶テレビ(修理技術)に関する技術サポートを行いました。

自分の専門をヨルダンでどの様に役立てたら良いのか、何が出来るかを試行錯誤しながらの活動でした。

自分の方針が決まったのは活動の後半でしたが、その後カウンターパートの協力もありスムーズに活動がすすめられました。良きカウンターパートと心強いボランティア仲間を支えられ、実りある1年と7ヶ月でした。

シニア海外ボランティア



山口 勝範 さん

(中野市) ●派遣国：パラグアイ
●職 種：果樹栽培

パラグアイの首都アスンシオンの南東、パラグアリ県ラ・コルメナ市で果樹栽培(ブドウ・モモ・プラム等)の活動をしてきました。ラ・コルメナ市はパラグアイで最初に日本人が移住し日本人が切り開いた町で、今でも多くの日系人が住んでいます。彼ら主体で農協組織を作って、農産物の生産技術の向上とその販売を行っており、パラグアイで唯一と思われる落葉果樹の一大産地を形成しています。生産技術の指導制度もなく、生産物資も不足する中人々の努力は大変なものだと感じました。



新職員紹介



語学スーパーバイザー おくり きよし 小栗 潔

4月に語学訓練スーパーバイザーとして駒ヶ根訓練所へ参りました。20年前にこちらで訓練に参加し、青年海外協力隊員としてマレーシアで活動しました。今回はボランティアを志す方々のサポートをする側にあります。よろしくお願いいたします。



国内協力員 こうの しょうた 高野 将太

4月より駒ヶ根訓練所に着任しました高野将太と申します。2009年に駒ヶ根で訓練を受け、エルサルバドルで活動しました。主に語学訓練を担当しています。ボランティア候補者が充実した語学訓練が受けられるようベストを尽くしたいと思います。



診療室 看護師 さとう はるみ 佐藤 春美

4月15日より、訓練所診療室に勤務しています看護師の佐藤春美です。マレーシアやヨルダンでJICAボランティアとして活動してきました。こちらでは、主にボランティア候補者の皆さんの健康管理支援を担当します。よろしくお願いいたします。



市民参加協力調整員 もぎ ゆうこ 茂木 優子

初めまして。5月半ばから市民参加協力調整員の広報担当として着任いたしました茂木優子と申します。信州に魅せられ住み始めて2年、新しい地元で市民の方とのつながりを持てる仕事に就けて幸せに感じています。国際協力が皆様にとってより身近になったと感じて頂けるよう力を尽くしたいと思います。

JICAエッセイコンテスト募集開始!

今年で52年目を迎えたエッセイコンテストの募集が始まっています。全国の中学生・高校生を対象に、みなさんの国際協力への思いを発信してください。

募集期間

6/13(木) ~ 9/13(金) (当日消印有効)

テーマ

世界と日本の幸せのために
—私がしたいこと、すべきこと—

- 賞 最優秀賞(3名)、優秀賞(3名)、審査委員特別賞(4名)：副賞は1週間の海外研修旅行国際協力特別賞(10名)、学校賞、特別学校賞：副賞はフェアトレード賞品等応募された方全員へ参加賞をお送りします。
- 応募規定 中学生の部/2013年6月時点で中学生であること(400字詰 原稿用紙3枚以内) 高校生の部/2013年6月時点で高校生であること(400字詰 原稿用紙4枚以内) 日本語で未発表のもの、1人1作品に限る。
- 応募方法 詳細は、各学校に配布される応募用紙に、またはHPからダウンロードできます。(コピーも可) <http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/essay/index.html>

Information JICA駒ヶ根 インフォメーション

派遣前訓練公開講座

- ▶ **JICA事業概要**
内容：JICAの目的・機構・歩み・現状などの事業概要
7月16日(火) 13:00～13:50
定員：10名 講師：青年海外協力隊事務局 職員
- ▶ **JICAボランティア事業の理念と目標**
内容：JICAボランティア事業の概要及びその活動
7月17日(水) 13:00～14:50
定員：10名 講師：武下悌治 事務局長 (JICA青年海外協力隊事務局)
- ▶ **国際関係と日本の国際協力**
内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する
7月31日(水) 15:10～17:00
定員：10名 講師：廣野良吉氏 (成蹊大学 名誉教授)

- ▶ **異文化適応概論**
内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応するとはどういうことかなどの異文化に入っていくにあたっての心構え
8月21日(水) 15:10～17:00
定員：10名 講師：関谷雄一氏 (東京大学大学院 総合文化研究科 准教授)
- ▶ **地球のステージ(コンサート)**
内容：途上国で巡り会った人々との交流を映像と音楽そして語りで表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子供たちの明るくたくましい姿などを写し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。
8月21日(水) 19:00～21:00
定員：50名 講師：桑山紀彦氏 (医師・NPO法人地球のステージ 代表者)
- ▶ **世界の宗教理解**
内容：世界の宗教についての理解を深める。
8月23日(金) 14:10～16:30
定員：10名 講師：橋爪大三郎 (東京工業大学 名誉教授)

※講師の都合等で実施日が変更になる場合がありますので、ホームページでご確認ください。
ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

公開講座とは・・・JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべてJICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所です。

青年海外協力隊

平成25年度第1次隊 長野県出身新ボランティア 行ってきます!!



土屋 桜美 さん 派遣国：マレーシア
職 種：体育
(軽井沢町)
タイとの国境近くのコタバルにある社会福祉局に派遣され、特別支援学校や特別支援学級、施設などで体育指導を行います。現地の方と協力し、誰もが笑顔で運動に関わることをできるよう活動をしてきたいです。



安西 るり子 さん 派遣国：モロッコ
職 種：養護
(立科町)
幸せだと感じる心があればどんなときも幸せだと思います。モロッコにいる障がいを持った子どもたちとたくさんの幸せを見つけてこられるように、笑顔いっぱい楽しんできます。「私はいま、幸せです」



宮崎 大輔 さん 派遣国：パナマ
職 種：野菜栽培
(飯田市)
私は信州伊那谷の農家で生まれ育ち、信州大学大学院農学研究科で野菜の育て方を学びました。派遣先のパナマでは、貧困に苦しむ農家に野菜の育て方を教える予定です。信州人魂の「ずく」を出してがんばります。



川上 桂奈 さん 派遣国：ブルキナファソ
職 種：小学校教諭
(安曇野市)
最貧国に位置づけられるブルキナファソで、「豊かさ、幸せ」といった言葉に自分なりの意味を見出し、また、現地に根付く活動を、生活と学習をつなげる中から見つけ、住民とともに実践していきたいと思っています。



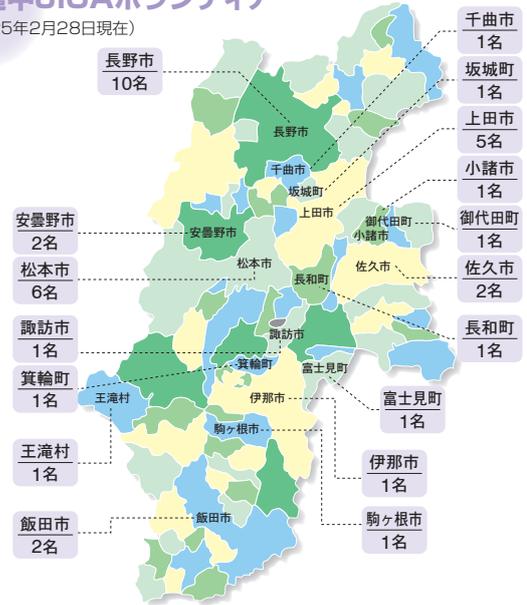
上條 美香 さん 派遣国：ホンジュラス
職 種：助産師
(松本市)
世界を見て助産師としての幅を広げたいという思いから協力隊に応募しました。中米ホンジュラスにてクリニックの巡回や妊婦への保健指導などを行います。任地の人とのコミュニケーションを大切に、お母さんや赤ちゃんがもっと健康で幸せに生活できるよう支援していきます。



西脇 英樹 さん 派遣国：エクアドル
職 種：小学校教諭
(飯田市)
赤道直下に位置し、アンデス山脈を中心に国土が広がるエクアドルに小学校教諭として派遣されます。現地ではエクアドルの先生と共に、小学校の算数の授業を考えます。子どもたちが楽しみながら学べるように、精一杯努めます。

派遣中JICAボランティア

(平成25年2月28日現在)



JICAボランティア派遣実績

平成25年4月30日現在

①青年海外協力隊員 派遣中 33名 累 計 723名	③日系社会青年ボランティア 派遣中 0名 累 計 17名
②シニア海外ボランティア 派遣中 5名 累 計 55名	④日系社会シニアボランティア 派遣中 0名 累 計 3名

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!
<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン
配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp
までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりの情報をリアルタイムでお届けします。